

有床診療所の開設について

- ◆ 診療所名：なのはなレディースクリニック
(さいたま市見沼区東大宮 4-22-5)
(一般19床)
(産科、婦人科、美容外科、小児科)

- ◆ 開設者：医療法人おおしまクリニック (深谷市)

- ◆ 開設等予定年月：令和8年4月

- ◆ 開設に伴い、現診療所（見沼区東大宮5丁目）から移転
移転と同時に小児科を設置
管理者（院長）の変更なし

- ◆ 医療法人おおしまクリニックについて
 - ・ 県内で開設している医療機関：
おおしまクリニック（深谷市上柴町西 6-19-10）
こくさいじクリニック（深谷市国済寺 3 4 7 - 1）

- ◆ 添付書類
 - ・ 事前協議申出書（抜粋）
 - ・ 病院整備計画の概要書

事前協議申出書
(有床診療所の一般病床)

令和6年10月22日			
(宛先) 埼玉県保健医療部長			
住所 埼玉県深谷市上柴町西 6-19-10			
氏名 (法人名) 医療法人 おおしまクリニック 理事長 大島 譲二			
医療法施行規則第1条の14第7項第2号に規定する有床診療所の 一般病床の設置若しくは増床について、事前協議を申し出ます。			
診療所の名称	なのはなレディースクリニック		
診療所開設予定地	さいたま市見沼区東大宮 4丁目 22-5		
診療所開設の計画の内容	詳細に別紙に記入すること		
担当者	氏名		
	所属		
	住所		
	電話		F A X

- ※ ①建物配置図 ②建物平面図 ③当該診療所に勤務する医師の履歴書及び医師免許証の写し
④学会が認定した専門医の場合は、当該資格を証する書面の写し ⑤土地・建物に関し権原を
有する事を証する書類の写し ⑥その他県が必要と認める書類 を添付すること

病院開設等の計画の内容

I 開設等の計画

1 開設等の概要

病院の名称	なのはなレディースクリニック				
開設者	医療法人おおしまクリニック 理事長 大島 譲二				
所在地	さいたま市見沼区東大宮5丁目33番地12 柏洋ビル1階				
土地	契約予定年月 2025年6月				
	都市計画法上の区域 (市街化・市街化調整・その他) 用途地域 (第二種住居地域) 地目 (畑)				
	既存 (賃貸 m ²)	新規 2,120 m ² (賃貸 2,120 m ²)	合計 2120 m ² (賃貸 2120 m ²)		
建物	契約予定年月	2025年6月	着工予定年月	2025年6月	
	竣工予定年月	2026年4月	施行業者名	島村工業	
	構造	既存			
		新規	鉄骨造 3階建て		
	既存 (賃貸 m ²)	新 1401.77 m ² (賃貸 m ²)	合計 1401.77 m ² (賃貸 m ²)		
開設等予定年月	2026年4月				
診療科目	変更前	産科・婦人科・美容皮膚科			
	変更後	産科・婦人科・美容皮膚科・小児科			
診療日及び診療時間	月～金 9:30～12:30 14:00～17:00 土 9:30～12:30 休診:土曜午後、日曜、祝日 <産科> 月～土 9:30～12:00 14:00～16:00 休診:日曜、祝日				
管理者	氏名 安部 まさき (1980年3月27日生) 医籍 第491222号 (2010年6月14日登録)				
病床数	既存	0床 (一般 結核)	床・療養 床・感染症	床・精神 床)	
	新規	19床 (一般 結核)	19床・療養 床・感染症	床・精神 床)	
	合計	19床 (一般 結核)	19床・療養 床・感染症	床・精神 床)	

2 開設等の必要性、病床（増床）数の積算根拠等

この度、医療法人おおしまクリニック『なのはなレディースクリニック』は(産科・婦人科・美容皮膚科)の移転、及び分娩設備・小児科を兼ね備えた医療機関としての開設を計画しております。

『なのはなレディースクリニック』は令和5年1月、さいたま市見沼区・東大宮に開業しました。地域の諸先生方のご指導の元、近隣医療機関との協力体制を構築し、現在では1日おおよそ100人の患者様の診療を行っております。

当クリニックの基本理念は、思春期から成熟期、更年期を経て、老年期に至るまでの女性の診療が、一貫して可能であることです。しかしながら、現在の体制・設備では分娩を行うことが出来ず、妊産婦の患者様の診療は提携施設に委ねざるをえません。出産を控えた方に転院の負担を強いている状況を鑑み、当クリニック移転により分娩設備の新設を検討するに至りました。

1. 移転による利便性の向上

JR東大宮駅西口より徒歩3分の場所に移転を計画しており、電車で通院される方の利便性がより向上するものと考えます。さらに20台分の駐車場も用意し、自家用車で通院されている方、ご家族様の送迎で通院されている方にとっても利用しやすい医療機関を目指します。また、現状よりもゆったりとした広さの待合スペースを確保し、待ち時間も含め快適に過ごしていただけるよう努力します。

2. スタッフの増員について

当直体制に備え、既に常勤医師3人、非常勤医師3人を確保する見込みです。今後も助産師の採用、看護師等スタッフの増員を予定しており、万全の体制で分娩に臨みます。

現在当クリニックでは、医師や看護師をはじめ事務員に至るまで、スタッフは全て女性に限定し、患者様からもご好評いただいております。移転後もその方針は変えず、女性に優しいクリニックを作っていく所存です。

3. JR東大宮駅周辺(さいたま市見沼区・北区)の産婦人科(分娩施設)の現状

さいたま市見沼区の出生数は令和4年(2022年)で1,013人、出生率(人口千対)6.3、北区においては994人、出生率(人口千対)6.8となっており、いずれも前年と比較すると減少・低下はしているものの、出生率(人口千対)の全国平均6.1以上を維持しております。しかしながら、JR東大宮駅周辺では分娩が可能な医療機関は少なく、半径10km圏内では5件、3km圏内に限ると1件という現状です。現在分娩を行っている医療機関が、今後、仮に分娩を休止、あるいは規模の縮小をした場合、移転後の当クリニックが補完設備としての役目を担えるのではないかと考えております。

4. 分娩設備・必要病床数の想定について

当クリニックは年間の分娩数を550件、必要病床数を19床と想定しております。550件の分娩の内、正常分娩は85%程度(467件)、帝王切開が必要になる状態は15%程度(83件)発生すると仮定しました。また、妊娠・分娩にあたり治療が必要な状況が発生する可能

性も考慮しております。

病床の内訳			必要病床数	患者数(分娩数)
常の入院病床	正常分娩	【1】産褥入院用病床	13	467
		【2】帝王切開後病床	4	83
【4】治療が必要な妊娠・分娩のための病床			2	83
合計			19	

病床の詳細と入院日数の想定、稼働率、必要数の算出方法は以下の通りです。いずれの病床も想定外の事態に備え、余裕のある稼働率を見込んでおります。

【1】産褥入院用病床(13床)

分娩後、経過観察で安全が確認された後に移動していただく入院病床です。移動当日を含め、7日程度の入院を想定しております。稼働率は70%程度を見込み、次のように必要病床数を算出しました。

$$\begin{aligned} & \text{正常分娩}467\text{件} \times \text{入院}7\text{日} \div 365\text{日} \div 70\% \\ & = 12.79 \Rightarrow \text{病床}13\text{床} \end{aligned}$$

【2】帝王切開後病床(4床)

帝王切開で出産された患者様が、手術室から移動後にご利用になる病床です。この場合の入院数は10日程を想定しております。稼働率は70%程度を見込み、次のように必要病床数を算出しました。

$$\begin{aligned} & \text{帝王切開}83\text{件} \times \text{入院}10\text{日} \div 365\text{日} \div 70\% \\ & = 3.25 \Rightarrow \text{病床}4\text{床} \end{aligned}$$

【3】治療が必要な妊娠・分娩のための病床(2床)

妊娠・分娩にあたり、約15%(分娩数500件のうち15%=75件)で治療が必要になる場合があります。その際は近隣の医療機関と緊密に連携し、患者様の安全を第一に対応いたします。緊急性と安全確保のため、より余裕のある25%程度の稼働率を見込み、次のように必要病床数を算出しました。

$$\begin{aligned} & 83\text{件} \times \text{入院}2\text{日} \div 365\text{日} \div 25\% \\ & = 1.82 \Rightarrow \text{病床}2\text{床} \end{aligned}$$

<分娩数550人/年の根拠>

当クリニックでは年間の分娩数を550件と設定し、必要病床数を19床と想定しました。この数字は、先に述べたJR東大宮駅周辺、近隣の見沼区、北区、伊奈町等の出生数と予定する職員数等を勘案して設定したものです。

5. 小児科の併設

移転と同時に、小児科も併設します。当クリニックで新生児の検診やワクチン接種が可能になることで、患者様に切れ目のない医療を提供出来るものと考えます。

以上のことから、『なのはなレディースクリニック』の移転、及び分娩設備・小児科の新設が、地域の患者様の産婦人科診療に対する利便性を高め、安心や安全の確保に大きく貢献出来るものであると確信しております。

今後とも患者様の安心・安全を最優先事項とし、おひとりおひとりに寄り添った医療を提供していく所存です。ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

注 開設等の必要性及び病床（増床）数の積算根拠について、地域医療における当該病院の役割及び申請に係る病床の担う機能並びに病院の状況を踏まえ、詳細に記入すること。

なお、病院の状況として直近の1年間の1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、病床利用率、平均在院日数、入院待ち患者の状況を必ず記入すること。

3-1 職員数

現在の職員数 (令和6年9月1日現在)					
職 種	定 員	常 勤	非 常 勤	常勤換算後	合 計
医 師		2人	5人	0.4人	2.4人
歯 科 医 師					
薬 剤 師					
助 産 師					
看 護 師		3人	4人	2.4人	5.4人
准 看 護 師		1人			1人
看 護 補 助 者			1人	0.3人	0.3人
管 理 栄 養 士					
栄 養 士					
診療放射線技師	—			—	—
診療X線技師	—			—	—
臨床検査技師	—		1人	0.1人	0.1人
衛生検査技師	—			—	—
臨床工学技士	—			—	—
理学療法士	—			—	—
作業療法士	—			—	—
歯科衛生士	—			—	—
柔道整復師	—			—	—
事務職員	—	5人	1人	0.8人	5.8人
その他()	—			—	—
〃 ()	—			—	—
〃 ()	—			—	—
合 計	—	11人	10人	4人	15人

注1 定員は、医療法上の標準数とすること。

注2 その他については、括弧内に職名を記入すること。

注3 常勤医師等とは、就業規則で定めた一週間の勤務時間を全て勤務する医師等をいう。

なお、就業規則で定めた一週間の勤務時間が32時間未満の場合は、32時間以上勤務する医師等をいう。

開設（変更）時の職員数					
職 種	定 員	常 勤	非 常 勤	常勤換算後	合 計
医 師		5 人	8 人	0.8 人	5.8 人
歯 科 医 師					
薬 剤 師					
助 産 師					
看 護 師		6 人	8 人	4.8 人	10.8 人
准 看 護 師		1 人			1 人
看 護 補 助 者		3 人	1 人	0.3 人	3.3 人
管 理 栄 養 士					
栄 養 士					
診 療 放 射 線 技 師	—			—	—
診 療 X 線 技 師	—			—	—
臨 床 検 査 技 師	—		1 人	0.1 人	0.1 人
衛 生 検 査 技 師	—			—	—
臨 床 工 学 技 士	—			—	—
理 学 療 法 士	—			—	—
作 業 療 法 士	—			—	—
歯 科 衛 生 士	—			—	—
柔 道 整 復 師	—			—	—
事 務 職 員	—	6 人	1 人	0.8 人	6.8 人
その他（ ）	—			—	—
〃（ ）	—			—	—
〃（ ）	—			—	—
合 計	—	21 人	19 人	6.8 人	27.8 人

4 施設の概要

区 分	既 存	開設 (変更) 後
診 察 室	室 m ²	1 室 5.33 m ²
小児 科	室 m ²	6 室 42.00 m ²
産 科	室 m ²	7 室 44.54 m ²
婦人 科	室 m ²	室 m ²
処 置 室	室 m ²	2 室 38.80 m ²
調 剤 室	室 m ²	0 室 0 m ²
手 術 室	室 m ²	1 室 19.63 m ²
X 線 室	室 m ²	0 室 0 m ²
病室 (内訳別紙)	室 m ²	14 室 180.69 m ²
給 食 施 設	m ²	23.71 m ²
消 毒 施 設	有 ・ 無	有 ・ 無
給 水 施 設	有 ・ 無	有 ・ 無
暖 房 施 設	有 ・ 無	有 ・ 無
洗 濯 施 設	有 ・ 無	有 ・ 無
汚物処理施設	有 ・ 無	有 ・ 無
分 べ ん 室	室 m ²	2 室 43.4 m ²
新生児入浴室	室 m ²	1 室 12.26 m ²
浴 室	室 m ²	2 室 4.92 m ²
機 能 訓 練 室	室 m ²	0 室 0 m ²
食 堂	室 m ²	2 室 60.58 m ²
談 話 室	室 m ²	0 室 0 m ²
ナースステーション	室 m ²	1 室 31.55 m ²
医 局	室 m ²	1 室 36.72 m ²
事 務 室	室 m ²	2 室 30.77 m ²
そ の 他	m ²	835.18 m ²
合 計	m ²	1401.77 m ²

注1 面積については、内法による数値とすること。(別紙)病室の内訳(病棟ごとに記入)

(別紙) 病室の内訳 (病棟ごとに記入)

既 存				開設 (変更) 後			
病 棟 名	病室番号	病 床 数	面 積	病 棟 名	病室番号	病 床 数	面 積
				2階	1	1	11.20m ²
					2	2	14.63m ²
					3	3	19.98m ²
				3階	4	1	19.15m ²
					5	3	21.43m ²
					6	1	9.08m ²
					7	1	9.23m ²
					8	1	9.96m ²
					9	1	9.96m ²
					10	1	9.21m ²
					11	1	9.04m ²
					12	1	11.92m ²
					13	1	12.95m ²
					14	1	12.95m ²
					計	19	180.69m ²

注1 病棟名については、病院で使用している名称でよいこと。

5-1 病棟の概要

	病棟の種類	病棟病床数		当該病棟の1日平均入院患者数	入院基本料の社会保険届出内容	当該病棟の看護師等数	
		病棟名	床			看護職員	看護補助者
既存病棟の状況							

注1 病棟の種類は、一般、療養、精神、結核等の別を記入すること。

注2 病棟病床数は、個々の病棟について病床数を記入すること。

注3 病棟名については、病院等で使用している名称でよいこと。

注4 既存病棟の状況の当該病棟の1日平均入院患者数は、直近の1年間の実績を記入すること。

注5 当該病棟の看護師等数は、常勤換算後の数値を記入すること。

	病棟の 種 類	病棟病床数		当該病棟の 1日平均 入院患者数	入院基本料 の社会保険 届出内容	当該病棟の看護師等数	
		病棟名	床			看護職員	看護補助者
開設 (変更) 後の病棟の 状況	一般	一般	19	7.8人	有床診療所入院 基本料	12	3

II 計画の進捗状況

現在の状況

用地の選定は既に済んでおり、東大宮駅徒歩3分、さいたま市見沼区東大宮4丁目22番3～5号641.3坪（地目・畑）を地主、さいたま市見沼区東大宮4丁目30番8号 瀬田正夫様との間で 事業用定期借地権設定契約（30年）の元に、令和6年3月に出店申込書、また同年9月6日には、基本合意書の取り交わしを終了しております。

現在は（株）針谷將史建築設計事務所 〒107-0062 東京都港区南青山2-7-6-B1により、農地転用許可、地盤調査・測量、都市計画法に基づく適合証明、建築確認を含め建物の設計に取り掛かっており、建築・設備管理についても、株式会社 島村工業 〒362-0015 上尾市緑丘3丁目4番25号に依頼し協議している状況です。

今後の予定

速やかに建築設計を進めて、建築費の算定を急ぎ、資金面でも内部留保及び銀行融資が中心となるのでメイン銀行、埼玉縣信用金庫 本店営業部 〒360-0042 埼玉県熊谷市本町1丁目130番地1、と年内中に協議する予定です。

また、内部の機械、器具、備品、インテリア、警備、ITインフラ整備など、各会社（未定）との協議計画を2,025年3月末までに進めます。なお、その資金についてもリース契約が大半なのでリース会社、株式会社日医リース北関東支店 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-5 K S ビルとの協議を、やはり2,025年3月末までに進める所存です。

注1 用地の選定及び取得、農地転用許可、都市計画法に基づく適合証明、建築確認等の状況又は予定を具体的に記入すること。また、許可書の写し等裏付け資料を添付すること。

注2 関係機関等との調整の状況も記入すること。

病院・診療所整備計画の概要書

1 病院・診療所の名称・所在地・所在二次保健医療圏

なのはなレディースクリニック ・ 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4丁目22 ・ 1102中央

2 開設者の名称・所在地 医療法人おおしまクリニック 理事長 大島譲二
埼玉県深谷市上柴町6丁目19番10

3 病院・診療所の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
計				

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床

4 開設等の目的、必要性

現在1日およそ100人の患者の診療を行っているが、現在の体制では妊産婦に関してリスクの低い患者のみしか対応できず、また、分娩施設がない為出産までに分娩予約を他の施設でお願いしている状況である。出産を控えた方に転院の負担を強いている状況を鑑み、当クリニック内における分娩設備の新設及び小児科を新設することで妊産婦への安心・安全な医療提供が可能となると考えた。また、さいたま市見沼区・北区の分娩施設の現状をみても当クリニックがJR東大宮駅近くに病床のある分娩施設を開設する意味は大きいと考える。もちろん緊急時は近隣の提携施設の協力をお願いすることも考えられるが、スタッフを増員し体制を強化し、できる限り自院での診療を行うことで地域医療構想の実現にもつながると考えている。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 19 床

医療機能*	病床機能 区分	病床 種別	入院基本料 特定入院料	病床数
周産期	急性期	一般	有床診療所入院基本料	19
計	—	—	—	19

* 回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

病床数の根拠

別紙病院開設等の計画の内容にて記載

(2) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	m ²		所有・借地
取得予定	2120m ²	2025年6月	所有・借地
計	2120m ²		

(3) 計画建物

工事種別	新築・増築・改修・その他（ ）
概要	鉄骨造3階建て

(4) 医療従事者

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	2	5	0.4	3	3	0.4
看護師	3	4	2.4	3	4	2.4
その他	6	3	1.2	4	0	
計	11	12	4	10	7	2.8

確保状況・確保策、確保スケジュール

常勤医師3人、非常勤医師3人確保。その他スタッフについてはホームページやインターネット広告、職業安定所を通じて募集をかけ令和7年12月頃までに人員確保予定。
--

(5) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 7年 6月	
2	建築（着工～竣工）	令和 7年6月～令和8年2月(8か月)	
3	使用許可（医療法）	令和8年3月	
4	開設（増床）	令和8年3月	